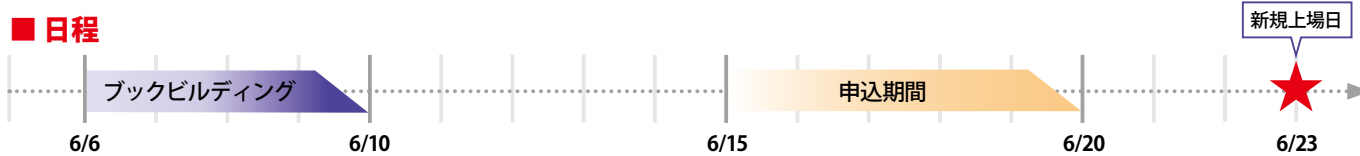


## IPO銘柄 バーチャレクス・コンサルティング (6193・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6193	100株	公募: 12.00万株 売出: 96.40万株 (OA16.26万株)	1,030円~1,090円 (13.5倍)	野村証券



### 顧客関係管理のCRMプロセスの導入・構築を支援

#### ■ 事業内容

CRM (顧客関係管理) プロセスの導入・構築に関わるコンサルティング、システムソリューション提供、コールセンターなどの運営受託業務などを手掛ける。IT&コンサルティング事業で企業向けコンサルティングサービスのほか、同サービスを通じて培った知見をITソリューションの形にしたCRM製品の開発・販売を手掛ける。主要製品であるCRMパッケージ製品「inspirX (インスピーリ)」は、マルチチャネル対応の顧客対応履歴管理ソフトウェア。さらに、CRM ITサービスとして、クラウド型サービス、保守サービスも行う。アウトソーシングサービスでは企業のCRM推進の中心的事業としてコールセンターの受託運営を手掛けている。16年3月期の売上高構成比は、IT&コンサルティング事業が46.6%、アウトソーシング事業が53.4%となった。

#### ■ 特徴

「戦略や計画の策定力 (コンサルティング)」「ITソリューションの開発能力 (テクノロジー)」「業務の実行力 (アウトソーシング)」のノウハウを持つ点が強み。これらを活用し、企業のCRMの再構築をワンストップで、トータルに支援している。

### アナリストコメント

#### ■ 定量分析

17年3月期の連結経常利益は前期比39.6%増の3億5,000万円を計画する。本来の事業領域であるCRM領域に回帰する経営方針を取り、着実に新規案件を獲得するとともに、プロジェクト採算性の向上に努めてきた。顧客ニーズに合わせて「inspirX5」も販売開始している。

#### ■ 定性分析

やや地味で、ビジネスモデルにも新鮮味が乏しい。ただ、スマートフォン活用、ビッグデータ分析など事業の幅の拡大に加え、「inspirX」への機能拡充ではクラウド化、オムニチャネル化、デジタルマーケティングソリューションとの連携などに取り組んでいく方針という。

#### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約13.6億円。市場からの吸収金額は軽量級ではないが、荷もたれ感を意識するような規模でもない。株主にはベンチャーキャピタルはおらず、SBSホールディングス、ALBERTなどの上場企業が株式を保有している。(小泉健太)

#### ■ 類似企業

バーチャレクス・コンサルティング (6193・マザーズ)	予想PER13.5倍 (仮条件上限)
パイプドHD (3919・東証1部)	予想PER16.2倍
エイジア (2352・マザーズ)	予想PER34.2倍

#### ■ 引受証券

野村証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券、SBI証券、マネックス証券、岡三証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年3月期(実績)	3,756	▲16.8	141	9.2倍	172	黒転	62.8	—
16年3月期(実績)	3,865	2.9	251	77.8	253	47.1	92.4	—
17年3月期(会社予想)	4,231	9.5	350	39.6	229	▲9.7	80.7	—

※15年12月に株式分割(1株→100株)を実施。15年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年3月期	27,450	1,226	416	493	151.6	33.9	52.3
16年3月期	2,745,000	1,375	669	493	244.0	48.7	46.7

※15年3月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	シンプレクス	1,411,100	49.59
2	丸山 栄樹	492,900	17.32
3	バーチャレクス従業員持株会	198,000	6.96
4	SBSホールディングス	140,400	4.93
5	丸山 勇人	129,700	4.56
6	黒田 勝	105,000	3.69
7	横田 元	38,500	1.35
8	SIMPLEX	36,000	1.27
9	ALBERT	35,000	1.23
10	小林 知巳	30,000	1.05

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	丸山 栄樹
代表取締役	丸山 勇人
取締役	田中 健一
取締役	漆山 伸一
取締役	坂 宗篤
常勤監査役	黒川 邦秋
監査役	鈴木 邦男
監査役	小林 知巳

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。